



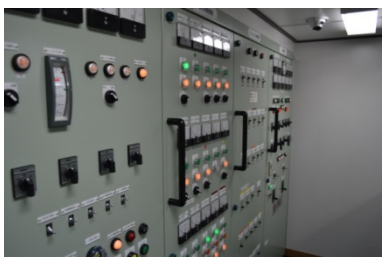
石巻港復興だより第15号 (石巻港湾ひばりの通信38号) —港湾は人の心も結んでいます—

大型船の離着岸サポート機能が万全！！

■最新鋭の新造船タグボート「宮城丸」が、8月5日に石巻港に配備され、就航しました。

「宮城丸」は、総トン数197t、全長33.3m、最高速力14.5ノット、曳航力前進最大56トン、最大出力4,000馬力を備えた最新鋭タグボートです。

東北唯一の国際拠点港湾・仙台塩釜港の一港として、また国際バルク戦略港湾の連携港として、大型船舶が入港する「石巻港」において重要なタグボートになります。これからは、既に配備されている「蔵王丸」との二隻体制で運営されることになり、石巻港の物流機能がより一層向上し、港の安全・安心も高まることになります。



〔タグボート〕とは

大型船舶の着岸や離岸を補助することが主な業務で、通常の船舶と異なり、特殊なプロペラを装備し360度旋回可能な他、高馬力エンジンによる強力な曳推力と機動性を備えています。また、航行中の船舶の座礁やエンジントラブルなどが発生した際、海難救助や、湾内における船舶火災の消火、排出油の防除などの海上防災作業のほか、大型油槽船や液化ガス運搬船の警戒作業など、幅広く港湾業務を担っており、港にとって不可欠な船舶です。

災害発生時の海上輸送を試行

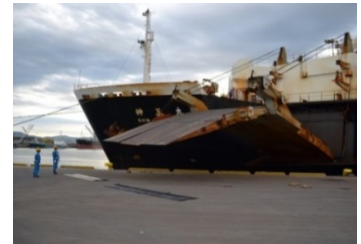
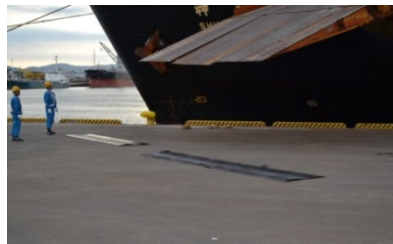
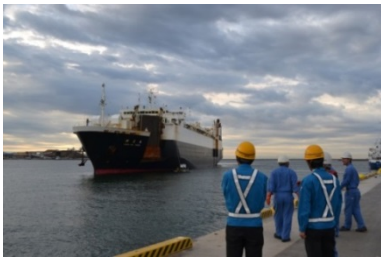
■震災後初めてRo-Ro船による海上輸送が9月14日（月）中島2号岸壁で行われました。

日本製紙株式会社石巻工場は企業BCPの取組の一環として、従来の鉄道やトラックによる輸送の他に、海上輸送手段も確保することを目的にRo-Roによる試験運行を行いました。

今回のトライアルは、苫小牧港から東京港へ向かうRo-Ro船「神王丸」（総トン数10,980t）に石巻工場で出荷する積荷（製紙）をシャーシに乗せ、トレーラーにより積み込む作業で、合計10台（約150t）を積み込みました。

日本製紙では、今後このような作業を数回試行し、輸送や荷役時間、コストなどを検証し、企業BCPの確立と新たな輸送手段の確保を図りたいとしています。

県では、今後とも石巻港を活用した新たな海上輸送の確保を支援していきたいと考えております。



〔BCP（Business Continuity Plan）〕とは

災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないこと。また、万一事業活動が中断した場合でも、目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断に伴うリスクを最低限にするために、平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画。

〔Ro-Ro船〕とは

フェリーのようにランプを備え、トレーラーなどの車両を収納する車両甲板を持つ貨物船のこと。旅客を乗せないシャーシ専用フェリーのようなものです。

石巻港 工業用地分譲中



■現在3地区4区画にて分譲中です。

□大曲地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
M-1	68,676.56	工業専用地域	分譲中
□西浜地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
M-2	85,615.53	工業専用地域	分譲中
□雲雀野地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
D-1	約 83,000		造成中
D-2	約 73,000		造成中
D-3	約 131,000		造成中
F-3	44,277.80	工業専用地域	分譲中
F-7	41,583.68	工業専用地域	分譲中

宮城県の優遇税制	
○みやぎ企業立地奨励金	
○宮城県工業立地推進融資制度	
○原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金	
○民間投資促進特区の優遇制度 等	

石巻市の優遇制度	東松島市の優遇制度
○企業立地助成金	○企業立地促進奨励金
○上水道料金助成金	○工業用地確保補助金
○緑化推進助成金 等	○環境整備促進補助金
※この他にも優遇制度がありますので、下記に問い合わせ下さい。	

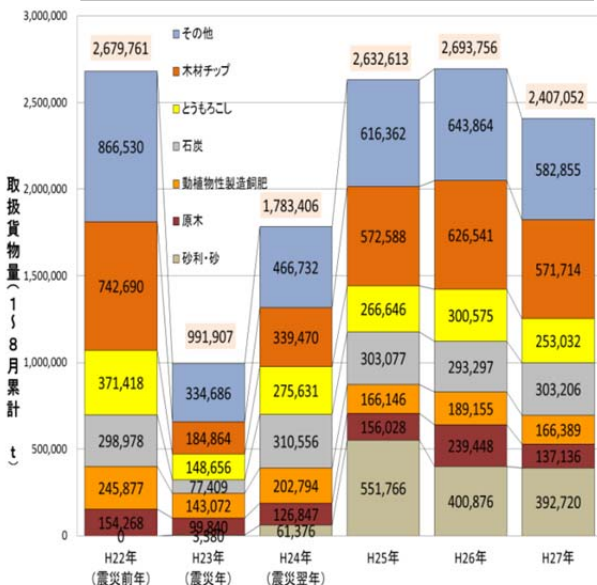
問い合わせ先	
宮城県経済商工観光部 産業立地推進課	TEL 022-211-2732
石巻市産業部産業推進課	TEL 0225-95-1111
東松島市産業部商工観光課	TEL 0225-82-1111

石巻港の貨物量の推移

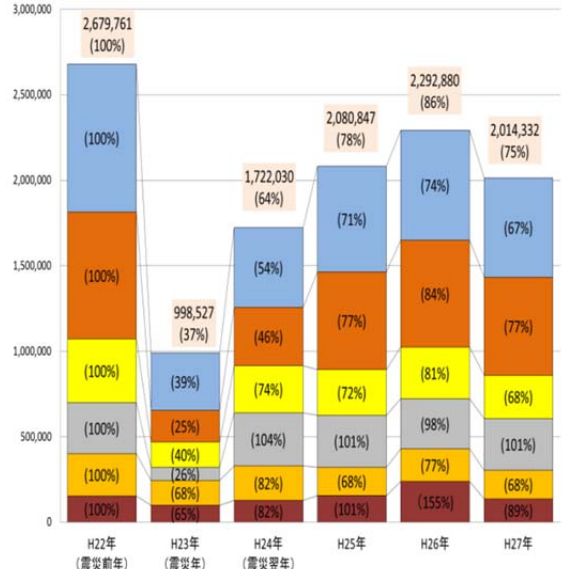
■1～8月累計比較 H22 比約8割（砂利等除く） H26年と比べてもやや減少傾向。

震災後、復興用資材等として砂・砂利等の扱い量が増えたことから、純粋な比較をするために、砂・砂利等を除いたものを右図に示しました。前年と比べても、全体的に扱い量がやや減少しています。

1～8月貨物取扱量累計年比較
(内港含む ただしフェリー貨物分は除く)



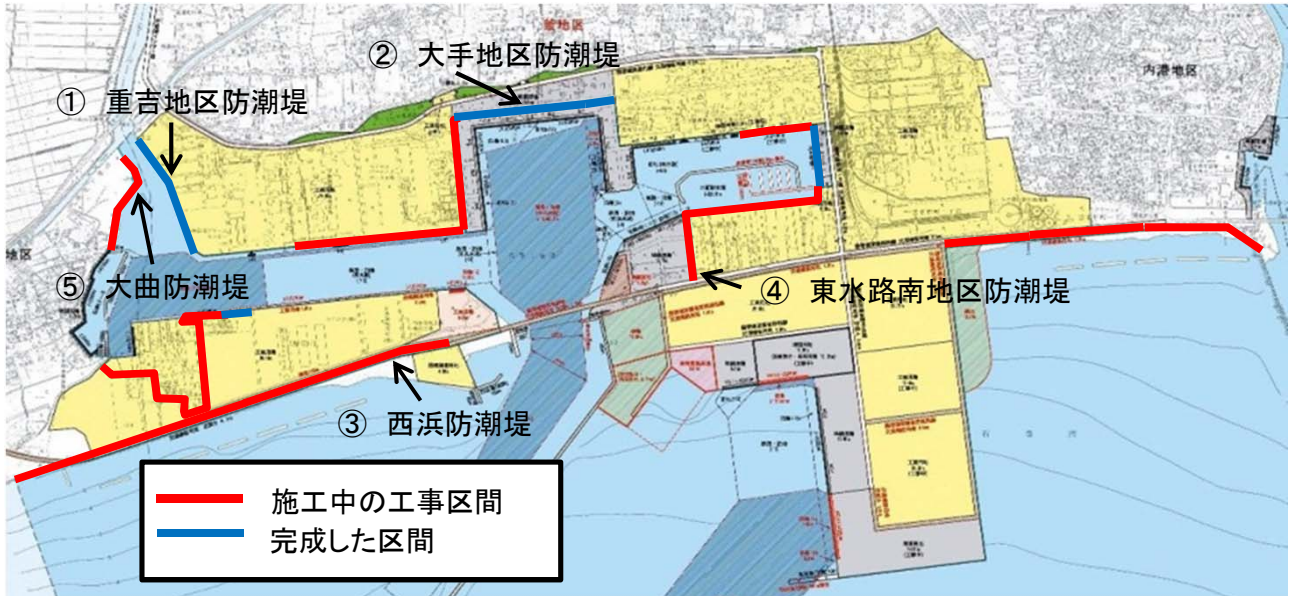
左記グラフより砂・砂利等除く
※()内は2010年(H22)比



石巻港 復旧・復興工事(防潮堤)の状況

昨年度着工した石巻港内防潮堤工事は順調に進んでおり、続々と新たな工事が着工しています。今後も施工現場の安全確保を図りながら、石巻港内の復旧・復興を加速させていきます。

■石巻港区平面図



完成した箇所

■重吉地区防潮堤①



着手前 (H26.3)



(H27.3)



現在 (H27.9)

■大手地区防潮堤②

大手地区防潮堤のコンクリート擁壁は平成27年9月に完成しました。今後、擁壁の脇に管理用通路を施工するため、舗装工事を実施していきます。



着手前 (H26.6)



(H27.3)



現在 (H27.9)

施工中の箇所

■西浜防潮堤③

西浜防潮堤はTP+7.2mを計画高としており、現在は側溝を設置しています。西浜防潮堤全体としては44%の進捗となっております。



着手前 (H24.7)



(H26.6)



現在 (H27.9)

■東水路南地区防潮堤④

東水路南地区防潮堤はTP+3.5mを計画高としており、鋼管杭と鋼矢板を基礎としたコンクリート壁の施工を行っています。現在は企業や工場と調整を図りながら鋼管杭の打込みを行っています。進捗率は11%となっております。



着手前 (H26.3)



(H27.8)



現在 (H27.9)

■大曲防潮堤⑤

大曲防潮堤はTP+3.5mを計画高としており、鋼矢板を基礎としたコンクリート壁の施工を行っています。現在は鋼矢板の打込みを終え、コンクリート壁施工のため盛土を行っています。進捗率は70%となっております。



着手前 (H26.11)



(H27.5)



現在 (H27.9)

地方港の復旧状況

■表浜港

震災後、平成24年3月より実施してきた表浜港の災害復旧工事が平成27年10月末に完成します。今後は、新たに整備する防潮堤工事を実施していきます。



■雄勝港（浪板地区） 防潮堤工事

現在、陸側のコンクリート壁の施工を行っています。



着手前（H27.2）



現在（H27.10）



施工状況

■女川港（横浦地区） 防波堤工事

現在、防波堤の上部コンクリートを打設しています。



着手前（H26.10）



現在（H27.10）



施工状況

■女川湾口防波堤

女川湾口防波堤の復旧は順調に進んでおり、28函全てのケーソン据付が完了しています。現在は上部コンクリートの打設と捨石投入作業を引続き行っており、今年度末に概成します。



着手前 (H25.4)



(H26.6)



現在 (H27.9)

被災地支援継続中

■「全国哥磨会」主催チャリティー大会が開催されました。

平成27年8月15日(土)晴天にも恵まれた中、雲雀野港湾用地において、全国哥磨会主催の「東日本大震災復興チャリティー大会 in 石巻」が開催され、全国各地からアートトラックが集合しました。

大会ではアートトラック愛好家仲間による義援金の募金活動がなされるなど、被災地支援に御協力いただきました。



全国から集まったトラック300台超



懐かしのボンネットトラック

復興を支える臨港地区企業

■石巻港の宮城県グリーン製品製造会社を紹介します。

宮城県では環境に配慮したリサイクル製品等を「グリーン製品」として認定し、普及拡大を図ることとしてします。舗装工事の下地になる路盤材の多くは、砕石を利活用していますが、石巻市重吉地区に工場を有する「株式会社伊藤製鐵所」は電気炉から発生するスラグを100%利用した路盤材「鉄鋼スラグCS40」を製造販売してします。同製品は石巻港周辺の公共事業にも活用され、環境に配慮しながら復旧・復興の礎を担っています。積極的に御利用願います。

使用実績

- ・石巻市大街道北ほか道路災害復旧工事
- ・石巻市新蛇田地区土地区画整理事業
- ・渡波漁港神明地区用地嵩上げ工事ほか



支援職員が交代

石巻港湾事務所では富山県からの応援を頂いております。9月30日をもって6ヶ月間応援を頂いた梅川さんが離任されました。ありがとうございました。

10月1日より富山県から新たに高島さんが着任されました。防潮堤整備事業も順調に進んでおり、大切な時期となる後半戦です。港湾事務所総勢27名にて港湾の復旧・復興に邁進していきます。



感謝状贈呈の様子（離任式にて）



梅川さんから高島さんへ引継ぎの様子

編集後記

4月から応援いただいた富山県の梅川さんに代わって高島さんが来てくれました。にっぽん丸の寄港は強風により中止となり残念でなりません。海の仕事は天候に左右されることが多いものだと改めて感じさせられます。年度後半に向けて、嵐に負けずに実行あるのみです。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話:0225-95-6271

FAX:0225-95-6273

E-MAIL:iskown@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>